

市民意見に対する考え方について

A 計画に反映させる

B 計画に盛り込み済

C 今後の取り組みの参考

D 計画に反映できない

通番	保全活用計画における該当箇所	意見概要	対応区分	市の考え方
1	p14⑥ボランティア活動の支援と調整	ゴミ拾いなどのクリーンアップ活動を行っている団体同士の連携が弱い。横のつながりをもっと強化すべきである。「ゴミ拾いサミット」などを開催してはどうか。	BC	ボランティア団体等の連携については、課題として認識しており、記載済みです。 ゴミ拾いサミット等の開催については、今後の参考とさせていただきます。
2	p18(1)基本理念	「美しい景観を守る」という言葉だけでなく、「マツペレ」によるエネルギー循環などに関連した「エコ」という新たな付加価値も加えるべきである。	B	ご提案頂いた、「マツペレ」等による活動については、松原保全という項目に記載済みです。
	p20①松原の保全	松枯れ対策について、官学の立場から今後植える松の品種選定や薬剤の投与推進をお願いしたい。松原周辺の管理道は不要である。マツペレの普及を検討してほしい。	BC	松枯れ対策に向けての品種選定や薬剤投与については検討を行っております。 松原周辺の管理道については、ご意見として今後の参考とさせていただきます。
	p21②砂嘴の保全	砂防ダムの廃止をすべきである。砂量を確保できれば、L型突堤は廃止可能。自然のサイクルが戻るまで、養浜が必要である。	BCD	養浜の必要性については本計画の中にも大きな柱として記載済みです。 L型突堤の廃止については県の事業として決定済みですので、ご意見として参考とさせていただきます。 砂防ダムについては、国・県の事業です。廃止という点については、必要性を検討し設置しており、現時点での廃止は難しいと考えます。
	p21③風致景観の保全	手を入れすぎないことが重要である。今あるものを綺麗にすることから考えるべき。	B	本計画は保全を第一に考えて検討しており、内容として含まれていると考えております。
	p22⑧資源としてのマツの活用と産業振興 p17①来訪者管理戦略	マツペレ工場・ボイラー導入を検討してほしい。トイレ(清水五中裏など)の整備をすべき。同時に歩道の途中に「休憩所」が必要である。羽衣の松のふもとの駐車場を廃止し、一般客も「神の道」手前で駐車できるようにすべきである。みほナビにおいて松葉拾いを提唱すべき。看板の過度な増設は不要。	BC	マツペレ工場、ボイラーの導入及びみほナビでの松葉拾いの提唱については、参考とさせていただきます。 トイレや歩道、駐車場の整備、看板の乱立については本計画内の課題等に記載してあります。

市民意見に対する考え方について

A 計画に反映させる

B 計画に盛り込み済

C 今後の取り組みの参考

D 計画に反映できない

通番	保全活用計画における該当箇所	意見概要	対応区分	市の考え方
2	p23	マップや公式コースを作成し、提案すべき。有償で働くガイドを導入すべき(現ガイドが高齢者が多い)。楽に歩けるように自転車やノルディックウォーキングの導入などすべき。松の苗販売→購入者が育成→植えるための再来場のサイクルを生み出すべき。マツペレ関連グッズを販売すべき。「おとなの文化祭」といったツアーを企画すべき。イメージカラーの設定をすべき。	BCD	松の苗を販売し、購入者が育成、植樹というサイクルの構築については、再来場を促す意味で有効と考えますが、マツクイムシ被害等の影響や、松の植生(植え替えは難しい等)の課題もあるため、導入は難しいと考えております。また、マツペレ等のグッズ販売については、商業行為であり、市として対応が難しいと考えております。自転車道やボランティアガイド等の課題については、本計画に盛り込んであり、今後の検討課題と認識しております。おとなの文化祭等のツアー企画やイメージカラーの設定については、今後の参考とさせていただきます。
	p24③情報管理戦略	WEBによる市外への情報発信と共に三保半島内への紙媒体での情報発信を同時に実施すべき。「三保を良くしたい」と考える全ての人がこの紙・WEBを見れば良いというものを作るべき。各団体との情報の共有は現在の課題である。	B	情報発信は重要なテーマだと認識しており、本計画の中でも記載しています。各団体との情報の共有は、今後の大きな課題でもありますので、検討してまいります。
	全体	官の計画・予算をベースに民間団体が比較的自由に活動できるような組織体が必要不可欠である。県・市でもなく、NPOでもなく、会社でもない運営組織が必要である。	C	三保松原については県・市・民間(NPO等)の事業があり、わかりにくい状況ではありますが、それぞれに事業推進を図っております。ご意見については、参考とさせていただきます。
3	p22①来訪者管理戦略	駐車場から松林の前まで人力車を運行してはどうか。	C	魅力的なご意見ではありますが、行政主導で行うことが難しいので、今後の参考とさせていただきます。
4	p16⑥(民間)周辺商業施設の在り方	元来のバス駐車場スペースは松原の玄関であり、第一種低層住居専用地域である。管理計画ではこの地域に商業施設を自由にすることができず、困るかのような表現がある。この表現に違和感をもった。居住区として快適で静かな環境を担保する環境保全が第一義であるとする。また、現状に対して既存の法令が順守されているか疑問である。管理者による精査をのぞむ。バスの規制についても中途半端な態度のように感じる。	ABC	ご意見を基に再検討結果、商業施設に関する記述は削除します。本計画では、環境保全について第一義に考えております。既存の法令が遵守されていないのご指摘については、今後の検討課題と認識しております。バス規制の対応については、バス会社等への協力を依頼しておりますが、利用者が高齢の場合や、現地での時間配分等の問題から、対応が難しい場合もあります。今後については検討をすすめていることから、参考とさせていただきます。

市民意見に対する考え方について

A 計画に反映させる

B 計画に盛り込み済

C 今後の取り組みの参考

D 計画に反映できない

通番	保全活用計画における該当箇所	意見概要	対応区分	市の考え方
5	p15(2)活用の状況と課題	みほナビでは三保と「信仰の対象と芸術の源泉」との関わりが十分に説明されていない。周辺観光地の案内よりも構成資産になった理由の解説にもっと重点を置くべき。三保の素晴らしさを案内できるガイドを5～8名配置すべき。	AC	みほナビの展示については、今後建設を予定しております（仮称）羽衣資料館で、展示を充実させ、富士山との関わりや構成資産としての価値を発信していきます。情報発信の重要性は本計画でも触れております。構成資産となった理由についてもっと重点をおくべきという点についても（仮称）羽衣資料館の中で対応します。ガイドの配置については参考とさせていただきます。
	p16④遊歩道・トイレの整備不足	みほナビ近くのトイレ（周辺の遊歩道にあるものも含め）は古く、狭い。先ず気持ちよく使えるトイレの建設を強く望む。	B	本計画でもトイレについては課題と認識しており、整備を予定しております。
	p16③交通アクセスと駐車場の確保	神の道保護のためにハイブリッドバスを駐車場と松原を結ぶシャトルバスとして運行してはどうか。	C	神の道については、バスの乗り入れ規制の検討も行っており、大型車両の通行自体を問題とする意見もあるため、今後の参考とさせていただきます。
	会議や委員会等のあり方	現場の状況をつぶさに見ることで三保松原を訪れる人やその行動を知り、議論に活かしてほしい。	C	委員の方が1日中現地にいることは現実的に難しいと考えておりますが、みほナビでの来館者把握や、市による現地確認を行っております。今後の参考とさせていただきます。
	p17⑨ホスピタリティの不足	ボランティアの”支援”ではなく、”養成”をしてほしい。	B	ボランティアの養成については記載させていただきます。
6	p14⑥ボランティア活動の支援と調整	周辺住民がもっと参加した（町内行事のドブさらいのような強制力のある）清掃活動をしてはどうか。	B	地域との連携については、本計画の中にも記載されております。地域の方やボランティアと行政との連携について検討していく予定です。
	p17⑦看板の不統一	エレヌ・ジュグラリスの碑付近の案内板が不完全である。	B	エレヌの碑周辺の看板は、地域の有志で作成したものです。周辺の案内板の整備については課題のひとつと考えております。